

結婚の条件

高学歴、高収入、高身長を表す「三高」という言葉が流行した時代もありましたが、家事や育児に協力してくれることが、女性が重視する結婚相手の条件となっています。

国立社会保障・人口問題研究所「第12回出生動向基本調査」(平成十四年)によると、女性

が結婚相手の条件として重視する項目として「家事・育児に対する能力や姿勢」を挙げた割合は、前回調査より大きく増加してほぼ六割に達し、最多の「人柄」に次いでいます。女性の平均初婚年齢の27・4歳、第一子出産平均年齢の29・3歳は、ようやく仕事に手がたえを感じ始める時期でもあることから、重視する結婚相手の条件は「学歴」や「経済力」よりも「家事・育児に対する能力や姿勢」となるようです。

男女ともに女性が働き続け

ることを肯定する意見は増えてきていますが、現実には結婚後の家事や育児の負担は女性に偏ることが多いのが現実です。家事や育児をサポートする社会的環境は整いつつありますが、やはり夫の協力なくして働き続けることは困難なのです。

このような女性の期待に際してか、家事や育児に協力的な男性が増え、花婿修行に料理を習う男性も増加しています。日本の長時間労働慣行が、男性の家事や育児への参加を阻んでいるという指摘もありますが、家庭での男女の役割分担の在り方と働き方は、相互に影響を与えるものであり、男性の家事や育児への協力は、身近で重要な男女共同参画社会実現のための第一歩でもあります。



肥田中学校

わたしたちの未来のシンボル

「いきいきさらさらの陶壁」が肥田の街に登場しました



もうすでに多くの方々をご覧になられたと思いますが、昨年十一月十日に除幕式が行われ、見事な陶壁が姿を現しました。

この陶壁は肥田町まちづくり活性化事業の一環として、肥田町いきいきさらさら委員会の方々を中心に、子どもたちの未来と希望をそこに託していこうと、一昨年度に計画が持ち上がりました。そして、多くの方々のご苦勞とご尽力によって完成しました。

肥田町の幼稚園児・小学生・中学生が、その制作の一部に参加させていただきました。まず、一人一枚の

皿に自分の願いや希望を描く作業です。自分の将来の夢や希望を描くといっても、いざ筆を取ると、なかなか簡単に最初の一筆が出ないものです。それでも職員やPTAの方々からアドバイスを受け、呉須を皿に乗せて自分なりの思いを描いていきました。

そして、焼かれた何千枚もの絵皿を壁面に取り付ける作業にも、小学生・中学生の代表が参加しました。一枚一枚手にとって取り付ける作業も、簡単そうに見えて実際は本当に難しいものでした。三年生の一人は「こうした事業をきっかけにして、肥田町のお皿が有名になっていくといいです。また、それに協力することができてうれしかったです」との感想を持ちました。

自分たちの夢と希望を陶壁とともに、ずっと大切にしていきたいです。

